



令和3年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和3年1月28日

上場会社名 株式会社グローセル
コード番号 9995 URL <https://www.gloسل.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 石井 仁

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 上野 武史

TEL 03-6275-0600

四半期報告書提出予定日 令和3年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和3年3月期第3四半期の連結業績(令和2年4月1日～令和2年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年3月期第3四半期	42,585	18.9	436		364		267	
2年3月期第3四半期	52,532	13.2	66		2		24	

(注) 包括利益 3年3月期第3四半期 59百万円 (%) 2年3月期第3四半期 56百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年3月期第3四半期	11.04	
2年3月期第3四半期	1.01	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
3年3月期第3四半期	34,073	22,251	65.3	915.74
2年3月期	32,061	22,550	70.3	934.79

(参考) 自己資本 3年3月期第3四半期 22,251百万円 2年3月期 22,550百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
3年3月期		0.00		12.00	12.00
3年3月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和3年3月期の連結業績予想(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,500	13.3	455		330		245		10.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	3年3月期3Q	26,426,800 株	2年3月期	26,426,800 株
期末自己株式数	3年3月期3Q	2,127,905 株	2年3月期	2,303,296 株
期中平均株式数(四半期累計)	3年3月期3Q	24,189,600 株	2年3月期3Q	23,976,360 株

期末自己株式数にはE S O P信託分(3年3月期3Q 1,754,580株、2年3月期1,930,020株)を含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期の経済環境は、中国など一部地域で回復が見られ、また国内でも段階的な経済活動の再開とともに景気回復の兆しが見られました。しかしながら新型コロナウイルス感染症の再拡大が続いていることや収束の見通しが立たないことから景気の先行きは不透明な状況が続いています。

半導体市場におきましては、5G関連及びデータセンター向けの需要堅調に加え自動車等の生産回復により需給は逼迫状況となり、2020年11月の世界半導体売上高は前年同月比7.0%増と2020年2月から10ヵ月連続で前年同月実績を上回っております。

当社グループの主要販売先である自動車分野、産業分野におきましても、段階的な経済活動の再開により自動車分野は2020年度第3四半期の国内新車販売台数が前年同期比14.6%増となり2019年度第2四半期以来の対前年増加、また産業分野は2020年11月のインバータ・サーボモータ等の産業用汎用電気機器の出荷金額は前年同月比4.5%減ながらサーボモーターの輸出が6ヵ月連続で対前年増加するなど需要は回復傾向となっております。

このような環境の下、第3四半期に入り回復傾向に有ったものの当第3四半期連結累計期間では、品目別売上高で集積回路はマイコン・ロジックIC・リニアが産業・自動車分野を中心に減少し、前年同期比7,856百万円減(22.0%減)の27,840百万円、半導体素子はトランジスタ・パワーデバイスが自動車分野等での減少により、同1,565百万円減(18.0%減)の7,117百万円、表示デバイスは民生分野等での減少により、同175百万円減(14.0%減)の1,079百万円、その他はEMS、高感度ひずみセンサー(STREAL)が増加となったもののパーツ、開発等が減少し、同349百万円減(5.1%減)の6,548百万円となりました。その結果、売上高は同9,946百万円減(18.9%減)の42,585百万円となりました。

売上原価は前年同期比9,339百万円減(19.5%減)の38,530百万円。売上高に対する売上原価の比率は、高感度ひずみセンサー(STREAL)売上比率増加等により、前年同期に比べ0.6ポイント減少し90.5%となっており、売上総利益は同607百万円減(13.0%減)の4,055百万円となり売上高に対する売上総利益の比率は前年同期に比べ0.6ポイント増加し9.5%となっております。

販売費及び一般管理費は、総人件費の減少と新型コロナウイルスの影響による移動制限等により旅費交通費・交際費の減少等により、前年同期比238百万円減(5.0%減)の4,492百万円となりましたが、売上総利益の減少の結果、営業損失436百万円(前年同期は営業損失66百万円)、経常損失364百万円(前年同期は経常損失2百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失267百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失24百万円)となりました。なお、第3四半期としては自動車分野・産業分野の需要回復により営業利益・経常利益を確保しております。

連結業績の推移

(単位：百万円)

	令和2年3月期				令和3年3月期		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
売上高	17,551	17,989	16,991	16,131	13,040	13,867	15,677
営業利益又は営業損失(△)	△106	66	△27	5	△279	△224	67
経常利益又は経常損失(△)	△28	47	△21	8	△259	△198	93

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産は、前連結会計年度末に比べて2,011百万円増加し34,073百万円となりました。

これは、主として現金及び預金が886百万円減少したものの、商品及び製品が1,788百万円増加し、投資有価証券が699百万円増加し、電子記録債権が144百万円増加したこと等によります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて2,310百万円増加し11,821百万円となりました。

これは、主として短期借入金が2,566百万円増加したこと等によります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて299百万円減少し22,251百万円となりました。

これは、主としてその他有価証券評価差額金が300百万円増加したものの、利益剰余金が579百万円減少したこと等によります。

これにより自己資本比率は65.3%となり、時価ベースの自己資本比率は32.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については本日（2021年1月28日）公表致しました「令和3年3月期 業績予想に関するお知らせ」をご覧下さい。

連結業績予想（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
通 期	59,500	△455	△330	△245

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和2年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,009	4,122
受取手形及び売掛金	11,720	11,801
電子記録債権	1,355	1,500
商品及び製品	9,430	11,218
原材料	-	25
仕掛品	0	1
その他	250	441
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	27,764	29,108
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,031	1,030
減価償却累計額	△805	△817
建物及び構築物(純額)	225	212
工具、器具及び備品	193	203
減価償却累計額	△163	△175
工具、器具及び備品(純額)	30	28
土地	1,266	1,266
リース資産	68	97
減価償却累計額	△34	△58
リース資産(純額)	33	39
有形固定資産合計	1,556	1,547
無形固定資産		
ソフトウェア	117	115
その他	31	32
無形固定資産合計	149	148
投資その他の資産		
投資有価証券	1,335	2,034
繰延税金資産	217	276
その他	1,059	979
貸倒引当金	△21	△21
投資その他の資産合計	2,591	3,269
固定資産合計	4,297	4,964
資産合計	32,061	34,073

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和2年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,804	5,850
短期借入金	1,531	4,097
未払法人税等	63	39
賞与引当金	-	141
その他	1,037	660
流動負債合計	8,437	10,789
固定負債		
長期借入金	404	338
退職給付に係る負債	324	331
役員退職慰労引当金	0	0
株式給付引当金	81	138
繰延税金負債	3	1
その他	258	220
固定負債合計	1,073	1,032
負債合計	9,511	11,821
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,042	5,042
資本剰余金	4,720	4,720
利益剰余金	13,864	13,284
自己株式	△1,011	△938
株主資本合計	22,615	22,108
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△329	△29
為替換算調整勘定	268	173
退職給付に係る調整累計額	△2	△0
その他の包括利益累計額合計	△64	142
純資産合計	22,550	22,251
負債純資産合計	32,061	34,073

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年12月31日)
売上高	52,532	42,585
売上原価	47,869	38,530
売上総利益	4,663	4,055
販売費及び一般管理費	4,730	4,492
営業損失(△)	△66	△436
営業外収益		
受取利息	10	4
受取配当金	49	36
販売手数料	50	40
受取派遣料	25	29
その他	45	92
営業外収益合計	180	203
営業外費用		
支払利息	42	37
債権売却損	18	12
シンジケートローン手数料	0	18
為替差損	47	39
その他	6	23
営業外費用合計	115	131
経常損失(△)	△2	△364
特別損失		
貸倒引当金繰入額	0	0
固定資産除却損	0	0
会員権評価損	3	-
特別損失合計	4	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△6	△364
法人税、住民税及び事業税	91	89
法人税等調整額	△73	△187
法人税等合計	17	△97
四半期純損失(△)	△24	△267
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△24	△267
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29	300
為替換算調整勘定	△57	△94
退職給付に係る調整額	△4	2
その他の包括利益合計	△32	207
四半期包括利益	△56	△59
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△56	△59

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。